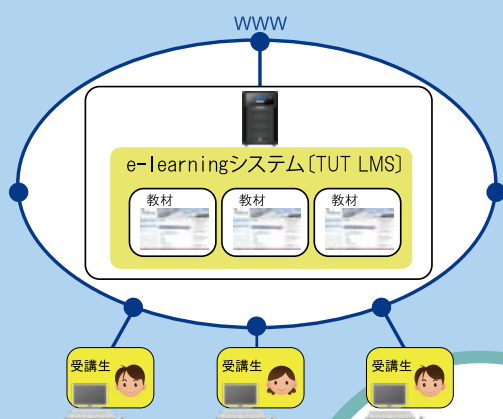


# IT食農先導士養成プログラム (最先端土地利用型IT農業コース)

第4期生募集 募集期間 2019. **7.19** 金 ▶ 2019. **9.6** 金



## 教室講義

e-ラーニングと組み合わせ  
先端基礎農学特論を学習

## 教育プログラム 3つの柱

### e-ラーニング

- ▶IT農業管理学特論
- ▶IT農業経営管理学特論

### 先端 IT農業研修 課題研究

課題研究により実践力を養成

日程

2019年**12**月~2021年**3**月

教室講義、e-ラーニング、課題研究及び先端IT農業研修

会場

大学・各視察先 他

募集人員

5名

受講料

150,000円

(農業研修等で実費個人負担がある場合があります)

対象者

農業者または農業に関心を持つ方

応募資格

高等学校卒業程度の学歴を有し、e-ラーニングを受講可能な方

受講料割引制度あり〔割引後受講料〕

- ①豊橋市、田原市在住・在勤者 50,000円
- ②協賛企業推薦者 50,000円
- ③農業従事者等 80,000円 ※詳細は募集要項参照

本プログラムは、文部科学省の「職業実践力養成プログラム」(BP)として認定されています。  
BPとは、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力養成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定する制度です。



募集案内はこちら

大学ホームページ[<http://www.recab.tut.ac.jp/contents/itagri/entry.html>]より志願書をダウンロードし、郵送にてお送りください。

申込先 ▶ 国立大学法人 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1 TEL 0532-44-6655 E-Mail: sendoshi@recab.tut.ac.jp

主催：豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

共催：豊橋技術科学大学 社会連携推進センター、豊橋市、(株)サイエンス・クリエイト

協賛：田原市、イノチオホールディングス(株)、(株)サーラコーポレーション、(株)大仙、トヨタネ(株)、豊橋信用金庫、本多電子(株)

## IT食農先導士養成プログラム（最先端土地利用型IT農業コース）

	科目名	日時	内容	講師名
先端基礎農学特論	資源植物学	2019/12/14(土) 2019/12/21(土)	水稻、普通畑作物、工芸作物、野菜、果樹、花きの特性等を講義	豊橋技術科学大学 熊崎 忠
	植物生理学	2020/1/25(土) 2020/2/15(土)	植物が様々な環境変化（水、光、接触、乾燥など）に対応して、どのような生理的変化を示すかを講義	豊橋技術科学大学 山内高弘
	植物保護学	2020/2/1(土) 2020/2/8(土)	植物の生育を左右する病原菌、害虫の総合防除法などを講義	J A あいち経済連 三宅律幸
	農業統計学	2020/3/8(日) 2020/3/14(土)	資源動植物の生育、収量データを、統計解析演習を含めて講義	獨協大学 李 凱
	土壌植物栄養学 (e)	12/7～配信	栽培の基本となる土壌科学、植物栄養学を講義	東北大学名誉教授 三枝正彦
	農業経営学 (e)	12/7～配信	持続的安定農業経営を行うための基礎的理論等を講義	名古屋大学名誉教授 竹谷裕之
IT農業管理論特論	ほ場-作物栄養診断 (e)	4/15～配信	土壌診断や作物栄養診断について、生産現場で実践可能な簡易診断法を含めて講義	東北大学名誉教授 三枝正彦
	農業環境計測論 (e)	4/15～配信	植物の生育を左右するフィールドの環境要因に加えて経営要因等の計測方法を学習	日本大学 梅田大樹 他
	6次産業化実践論 (e)	8/15～配信	ケーススタディによる事例紹介、ケースメソッドによる想定課題に対する解決方法の検討などを通して、6次産業化の現場で必要とされる知識を習得	食と農研究所 加藤寛昭
	IT精密農業論 (e)	8/15～配信	精密農業の特徴や独自性、その技術体系および農業ロボットについて講義	東京農工大学 澁澤 栄 他
	環境保全型農業論 (e)	8/15～配信	農業のもつ物質循環機能を生かし環境と調和した持続可能な農業生産のあり方を習得	東北大学名誉教授 三枝正彦
	バイオマス活用論 (e)	8/15～配信	バイオマスの農業利用、特にコンポストやエネルギーとしての利用について講義	農研機構 平内央紀
IT農業経営管理論特論	情報管理論 (e)	12/7～配信	農業情報の収集・データ管理・分析、プレゼンテーション、ネット販売システムの基礎など農業情報のための処理ツールを習得	愛知県立大学 入部百合絵 他
	環境経営論 (e)	12/7～配信	農業従事者が知っておくべき環境問題（循環型社会、地球環境問題、水質、廃棄物…）と、その環境影響を評価する方法を学習	東洋大学 後藤尚弘 他
	知的財産管理 (e)	4/15～配信	農業技術やその関連産業で生み出される知的財産の情報管理及び地域特産物のブランド化に関する権利取得法等について学習	SANSUI国際特許事務所 井川浩文 他
	農業マーケティング論 (e)	4/15～配信	ビジネス創出のために、経営理念の立て方、SWOT分析、マーケティングの基礎知識を講義	MORE経営コンサルティング(株) 日野真明 他
	農業支援政策論 (e)	8/15～配信	農業生産・経営を行う上で、必要な様々な関係法規について学習	名古屋大学名誉教授 竹谷裕之
	食農リスク管理論	2020年11月頃	農畜産物の安全・安心の確保を目的とするトレーサビリティシステムの概要及び現場へのHACCP・GAP導入の実務について学習	愛知大学 功刀由紀子、山口治子 他
先端IT農業研修	2020年内、5回	国内外の最先端的土地利用型農業を現地研修し、現場の問題や成功している要因を分析・解析する	豊橋技術科学大学 山内高弘、熊崎 忠	
課題解決技術科学研究	2020年4月～ 2021年2月	受講者の生産現場における問題を解決するための課題を設定し1年間、講師の指導の下に技術科学的研究を行う	豊橋技術科学大学 山内高弘、熊崎 忠	
20科目 26単位 401時間				

注1) 科目名の末尾に (e) が付いている科目は、e-ラーニング科目です。

注2) 教室講義は、講師や会場の都合により一部日程が変更となる場合があります。

注3) 開講式は2019年12月7日(土)、修了式は2021年3月を予定しています。

### IT農業ネットワークの活動

注) IT農業ネットワークとは、先端農業・バイオリサーチセンターが行っている人材育成事業の修了生で組織するネットワークで、講座修了後は、このIT農業ネットワークの会員となります。

#### (1) IT農業ネットワークシンポジウムとアグリフェアの開催

IT農業ネットワークシンポジウムは、修了生の活動報告や情報交流の場として現在まで9回開催されている。また、このシンポジウムに併せ、修了生及び受講生が、自身の農産物や農業関連製品を展示、発表することを目的としてアグリフェアを同時開催している。

#### (2) IT農業サポートセンターからのサポート

先端農業・バイオリサーチセンター内にあるIT農業サポートセンターでは、IT農業ネットワーク会員に対して、「ITアグリ通信（毎週配信）」と、「IT農業だより（隔月発行）」をメール送信し、農業関係の最新情報や会員の活躍状況などを伝えている。

#### (3) 植物工場技術科学研究会の活動への参加（任意）

2015年度に、受講生・修了生同士が生産現場の技術科学的問題に対して学び、情報交換を行っていくことを目的で研究会が発足し活動している。